

温暖な気候と水に恵まれた南九州エリアの食料供給基地。

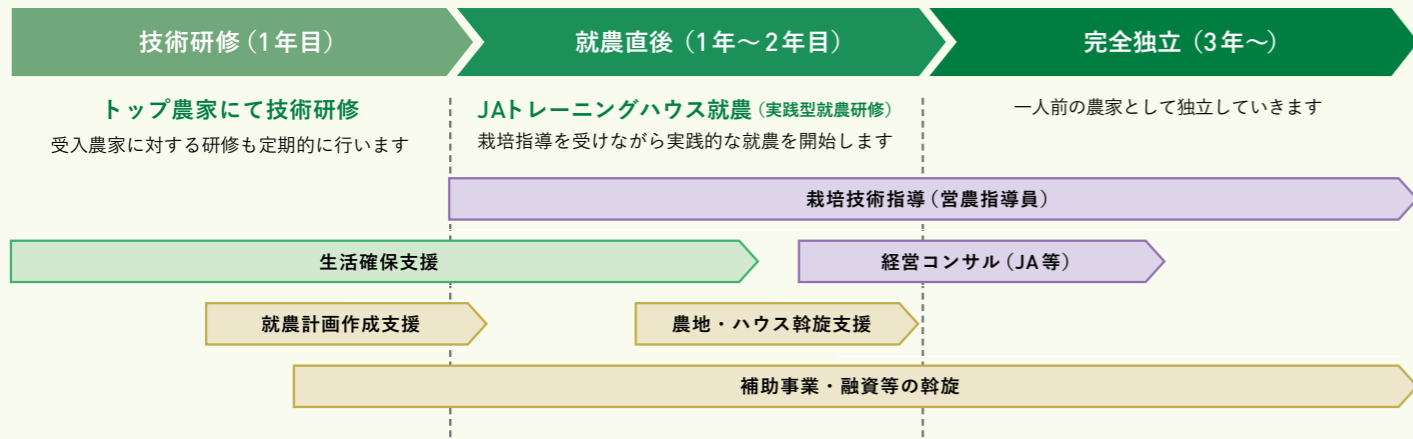
宮崎県の南西部に位置する都城・三股は、平均気温 17 度と温暖で暮らしやすい地域です。「肉と焼酎のまち」都城市は牛・豚・鶏などを合わせた畜産の農業産出額で全国 1 位を誇る畜産のまちです。焼酎やお茶の名産地でもあり、きゅうりやイチゴなどの施設園芸作物の栽培も盛んです。「花

と緑と水の町」三股町は紅白どぶろくや里芋、国産ごま、やまめなどの農畜水産物で知られます。都城・三股は、運動施設や文化施設、子育て施設、温泉等が充実しており、365 日の救急医療提供体制も整備され、安心・安全な暮らしを送れます。



特産品を使った創作料理
左：塩もみきゅうりの牛肉巻き
右：きゅうりとゆで鶏のヨーグルトサラダ

研修開始から独立自営就農までのフロー



JA 都城新規就農確保・育成・支援事業 募集要領

- 募集目的** 新たに農業を始めようとする高い意識を有する者を対象に、経営感覚に優れた地域農業の担い手を育成することを目的とする。
- 募集内容**
 - 募集人員 2名程度
 - 募集期間 1～5月
 - 研修期間 1年間
 - 研修品目 きゅうり
- 募集方法**
 - JAや行政の広報、ホームページを活用した募集
 - 農業高校及び農業大学への訪問や就農相談会等による募集
- 受入条件** 研修の対象者は以下の要件を満たす者とする。
 - 研修終了後、管内で独立就農が確実と見込まれる者。
 - 就農への強い意欲と一定の資金の確保ができる者。
 - 身元保証人の確保できる者（保証人は2名、うち1名は第三者とする）。
 - 研修期間中、生活費の確保を自分で行うことができる者。
 - その他、当組合が必要とするものを提出できる者。



〈お問い合わせ〉

都城地域農業振興センター（JA都城）
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5708 Tel.0986-38-6693
Mail : e-kikaku@miyakonojyo.ja-miyazaki.jp

●JA都城新規就農者募集サイト
JA都城 <http://miyakonojyo.ja-miyazaki.jp>



で農業はじめ！
都城・三股
畜産の都、食の都、人が行き交う都

農業経験がまったくない方も始めています。きゅうりづくりのプロが、その技をしっかりと伝授します。大切なのは指導を素直に受け、基本に忠実に、手を動かすこと。JA職員や農業改良指導員による技術指導や経営のアドバイスも充実。きゅうりへのまっすぐな情熱があれば、農業で独立という夢は、ここ都城・三股できっと叶えられます。

きゅうりに
まっすぐ。



私たちが
応援します。

都城・三股の
農家さんは

まっすぐな人ほど、よく伸びる!!

目標



目標は5年目で**20t**、粗収益**580万円**。

きゅうり10a当たり経営指標 (就農5年目を想定)

収入		経費	
生産量(10a)	20,000kg	種苗費・肥料費・農薬費	570,000円
経営面積	10a	動力光熱費	798,000円
販売単価/kg	290円	諸材料費	495,000円
販売量合計	20,000kg	減価償却費	747,000円
売上高	5,800,000円	荷造運賃手数料	1,625,000円
所得	1,215,000円	その他の経費(修繕費)	350,000円
所得率	21%	経費合計	4,585,000円



きゅうりは収穫期間が長く、安定的な収益が期待できる品目です。1年間の研修ではトップ農家が長年蓄積した貴重なノウハウを吸収できます。基本に忠実で行動的な人は、独立初年度から20tをクリアするケースもあります。きゅうりは品種改良も進んでおり、生産者のスタイルや栽培体系に合ったきゅうりづくりを目指すことが可能です。



「空き家等情報バンク」、
リフォーム補助金有。
家族で移住も安心。



環境

都城・三股では、「空き家等情報バンク」による空き家の情報提供を行っています。バンク登録の空き家を購入した移住者にはリフォーム費用の補助が受けられます。また、都市部ではバンク登録の空き家に付属する農地の取得も可能であり、農業を始めやすい環境が整っています。



きゅうりは素直な植物。
でも奥が深く面白い!

研修



専門の営農指導員が
きゅうりづくりを親身に指導。

営農指導員 **小仲総馬さん**



農家を巡回して農薬や肥料など、他の地域の成功事例などの情報提供を行っています。指導に当たっては、数値的な裏付けを確保した上で提案することを心がけています。収量が伸びる人に共通するのは「情報を取り入れる姿勢がある人」「作業に集中できる人」「きゅうりに注意深く観察できる人」です。きゅうりは作物の中でも人の工夫に対して素直に反応してくれる植物です。基本に忠実にまずは安定的に収量を確保できる生産者を目指してください。さらにその先を目指すには環境制御などの最新技術の習得や数値を超えた経験値も必要になります。きゅうり栽培は本当に奥が深く、やりがいがある世界です。



大切なのは「素直さ」と「一所懸命さ」、
そして「あきらめない心」です。

地元のベテラン農家 **徳村正一さん(63歳)**

就農した平成5年当時は支援制度などなく、ハウス造りも自力、試行錯誤の繰り返しで3年間は本当に苦労の連続でした。それでも9年目には収量トップの農家にJAから贈られる「グランドチャンピオン」を獲得、弟子たちには25年間で得たノウハウを惜しみなく伝授しています。5人の弟子を育ててきましたが、伸びる人に共通しているのは「素直さ」と「一所懸命」な姿勢。まずは「いらんことせんでいいち!」と教えるを忠実に守るよう指導します。結果、杉田君、森満君は2人とも年間の収量が評価されて「新人賞」を受賞しました。きゅうりはあきらめたらおしまい。どんな病気が出てあきらめず手をかけることでまた芯が伸びて、きっと成功します。



師匠直伝の基本を守って「新人賞」獲得。

土木会社から転身 **杉田隆文さん(36歳)〈H28就農〉**

義理の父の勧めで、土木関係の会社から一念発起して農業の道に入りました。最初は日々の作業についていけず修行の1年半はあつという間でした。独立後、自分で主体的に段取りを組んで動くのは修行時代とまったく勝手が違い、すべてが後手に回って苦労しました。それでも師匠から叩き込まれた基本に忠実に取り組んだ結果、最初の目標だったJA都城主催のコンテストの新人賞をいただきました。都城は情に厚く、先輩農家のみなさんも様子を見に来てくれたり、地区の飲み会で励ましの言葉をいただいたりします。今後も収量20tをキープしつつ、いずれはグランドチャンピオンを狙いたいです。



基本+現場での最適化で収量アップ。

機械のオペレーターから転身 **森満淳一さん(36歳)〈H29就農〉**

以前は農業法人で機械のオペレーターをしており、「いずれ自分も農業を」と考えていたところ、会社所有のハウスが空いたのを機に就農を決断しました。師匠には厳しく基本を教わりましたが、病虫害対策、作業工程管理、水量調節などトレーニングと独立後の現場では全く条件が異なり、最適な作業方法の模索はまだ続きます。1年目は作業に追われる日々でしたが、結果的に



は目標数値を達成でき「新人賞」をいただきました。JA都城さんからは農薬の情報や栽培管理の指導などお世話になっています。いずれは自分の土地を持ち、家族を持って生活の基盤を固めたいと考えています。

交流



青年部活動(焼肉カーニバル)



施設きゅうり専門部会研修会

毎年の「共励会」表彰、
青年部活動など
厚い人の輪。

JA職員 **坂元大輔さん**

JA都城の施設きゅうり専門部会では、年に1度、部会員の生産意欲の向上と所得の増大を図ることを目的とする「共励会」を開催しています。団体の部、個人の部があり、個人の部で販売金額上位7名を表彰、さらにその中で単位収量の最高者を「グランドチャンピオン」として栄誉を称えます。きゅうり生産者の最終目標であり、あこがれが「グランドチャンピオン」なのです。また、新規就農者の販売金額1位が「新人賞」でこれが最初の目標となります。通常の部会は月1回開催で各種情報交換やイベントを実施します。また若手農家が集まる青年部では地域の祭りや、農業体験などの食農教育支援を通じ、地域に溶け込みながら相互の親交を深めています。



独立そして新人賞へ。
夢は大きく!

